

## 令和元年度 各係における教育活動重点目標

本校の主要な係で、本年度取り組みたいものとして挙げられた重点目標です。それぞれの項目について、中間、最終の自己評価を行います。その評価を、学校評価員へ配布しますので、学校評価シートの評価にお役立てください。

### 1 教務係

今年度の重点目標
①生徒の学力向上を目指す
②校務が円滑に行えるように計画・立案する。
③生徒の出席状況の把握と先行指導
④生徒の豊かな人格形成を助ける。
⑤入試広報係と協力しての生徒募集活動

※評価【 〔達成度〕 A：十分 B：おおむねよい C：不十分 】

重点目標	評価項目	評価の観点	評価	実施事項と今後の課題
①	授業アンケートを実施し、その結果を利用した授業改善への反映	授業評価を実施し、授業改善に努めたか。	A	今年度 8 月より全教室に電子黒板が設置された。生徒の力を育成するための、より良い授業活用方法を情報交換をしながら模索していきたい。各教科ともに 1 学期のアンケートをもとに振り返り、2 学期の授業に望んでいる。
①②	教科シラバスによる計画的授業と定期考査の工夫	計画的な授業が展開でき、学習内容の定着が確認できたか。	A	シラバスや選択授業をスマートフォンの QR コードから見られるようにし、紙の削減を図った。
①	年 3 回 (3 年は 2 回) の実力テスト (実力診断テスト・到達度テスト・スタディサポート) の結果を利用したスタディサポート・スタディサプリを含めた学習活動への反映	結果を基に生徒に適切な指導ができたか。適切な準備後処理が出来たか。	A	クラッシー・スタディサプリの長期休暇の課題を設け、教員の振り返り会も設定しながら生徒へ還元している。
①②	授業時数の確保	年間計画にのっとり授業時間が確保できたか。	A	急な変更もなく計画通りに進んでいる。

①②	試験時間割・監督の日程	計画的な試験対策勉強が出来る環境を作れたか。	A	計画通りに進行中
①② ③	適切な年間計画の作成	年間の様々な行事を適切に配置し、生徒の豊かな人格形成の手助けとなったか。	A	計画通りに進行中
①②	学校自己評価	学校自己評価をとりまとめ、外部に公表できたか。		年度末に評価
②④	LHRの計画・設定	学年・クラス運営に効果的な計画・内容であったか。		年度末に評価
②	校内教研・テーマ学習会の立案・実施	研修結果が生徒指導に反映できるよう研修内容・講師選定・時間確保が出来たか。	A	校内教研を2回、テーマ学習会を3回計画。それぞれ計画通りに実施している。 第一回校内教研 7/11 松本大学教授犬飼巳紀子先生 「集団づくり関係力をみがくワークショップ」 第一回テーマ学習会 6/26 「留学報告と西高の国際教育概要」 第二回テーマ学習会 8/29 「電子黒板の活用方法」
③④	生徒の出席状況の把握と先行指導	毎日の出席状況や1/6、1/5オーバーした生徒を把握し、出席の改善が出来たか。	A	スクールマスターでデータ管理することで生徒の出席状況を把握しやすくなっている。朝会での報告と指導カルテの提出で意識の喚起と指導の確実性を見込んでいる。
②	各種奨学金を生徒に紹介し、奨学金の受給を広げる	一覧表の配布や説明会を実施し、奨学金を生徒に紹介できたか。	A	説明会を開催し速やかな手続きができるようにしている。
①④	生徒が西高手帳を有効的に利用できるように指導する。	記入の様子を把握する。タイムマネジメント手帳の有効利用講習会の実施等。	B	生徒への有効利用について研究する必要がある。

⑤	入試広報係と協力して入試業務を行う。	円滑に行えたか。(学校説明会・中学校訪問など)	A	計画どおりに実施している。
---	--------------------	-------------------------	---	---------------

## 2 進路指導係

重点目標	今年度の目標
①	講演会やキャリアガイダンス等を通して進路に対して目的意識を育むとともに、主体的な進路実現を支援する。
②	多岐にわたる進路における情報を適宜提供することにより、早い段階での進路意識の向上を図り、担任団の進路指導の援助を行うとともに、生徒の面接指導やプレゼンテーション指導等を支援する。
③	「e-Portfolio」「大学入学共通テスト」「高校生のための学びの基礎診断」への情報収集を行うとともに、進路実現に有効に働くよう検討する。

※評価【達成度】 A：十分 B：おおむねよい C：不十分】

重点目標	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題
①	三年間を見据えたキャリア教育を計画し、主体的な進路選択に向けた支援を行う。	各学年の段階に応じたガイダンスや講演会を、計画的に実施できたか。	A	ビッグハットで行われた6月の進路ガイダンスに2年生全員、3年生希望者(86名)が参加した。1年生は7月に職業ガイダンスを実施した。
①	就職希望者を主とし職業体験の場を提供し、生徒の職業理解を深めさせる。	看護体験や事業所見学の希望者に対し、事前に趣旨や意義を指導できたか。	A	看護体験(27名)を中心に職場体験の場を提供できた。新たに1年生に7月の職業ガイダンスを実施し職業理解を進めることができた。
②	生徒の進路意識状況を定期的に把握し、適	生徒の進路意識に見合った進路情報を提	B	全学年classiを利用し、進路アンケートを取るなど有効活用してい

	切な進路情報を提供しアドバイスする。	供し、進路相談を行なえたか。		る。今後進路相談への活用を進めていきたい。
②	生徒の学習の場を確保し、希望進路実現に向けた学力の向上を図る。	キャリアセンターやスタディホールの有効活用ができたか。	A	テスト前だけでなく常に利用者がいる状態が続いている。コース、学年関係なく利用者が増えている。質問しに来る生徒も増えている点は評価できる。
②③	生徒の成績の把握・分析を行い、状況に見合う進路指導を行う。	「classi」を学習指導に役立てることができたか。	B	長期休業の宿題としての活用はできているが、進学コースを中心に学力分析を含めた指導には課題が残る。
③	研修会への参加及び校内での情報共有を行ない、職員間での共通理解を持つ。	教員の使用環境を整え、入試に問題なく活用する状況をつくることができたか。	B	大学等の来校者からの情報は有効活用できる状況にしている。今後の大学入試については、未決定の部分も多く対応に苦慮している。

### 3 生徒指導係

今年度の重点目標
① 制服を美しく着させる
② スマートフォンの利用ルールの徹底 (SNS対策含む)
③ 自転車の安全運転を徹底させる
④ 駅構内・電車内のマナー向上
⑤ いじめの予防、早期発見、早期対応

※評価〔達成度〕 A：十分 B：おおむね良い C：不十分

重点目標	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題
①	シャツの第一ボタンまで締めさせる指導	シャツの第一ボタンを締めさせる指導を徹底できたか	B	多数の生徒がボタンを締めてネクタイを上げ、正しく制服を着る習慣が定着している。反面、一部生徒で定着していない面もあるため、より一層徹底指導をしていく必要がある。
②	スマートフォンの利用ルールの理解させ、守らせる指導	他係と連携。利用ルールが守られていたか	B	休み時間の教室での使用や移動教室、空き教室にスマホが置きっぱなしの状態はほぼないが、教員の目が届かないところでの使用（トイレでの使用や授業中隠

				れての使用)がある。10月末からと12月初旬に2度に分けてスマホルール確認週間を実施予定。
③	生徒指導だよりや講話を利用した啓蒙活動 通学路自転車指導	運転マナーが向上したか	B	警察の講話や学校近くの危険個所での指導を実施。1学期は苦情が寄せられたが、2学期は改善傾向がみられる。
④	生徒指導だよりによる啓蒙活動 列車乗車指導・駅見回り	乗車マナーが向上したか	A	年度当初に苦情が寄せられたが、全校集会で呼びかけを実施。列車指導においても特に問題なく、駅員からも好評価をいただいた。
⑤	生徒指導だよりや講和による啓蒙活動 いじめアンケートの活用、他分掌との連携	いじめを未然に防げたか 適切な対応ができたか	A	いじめ防止対策委員会によるアンケートを実施。それを基に各クラス、学年中心に予防や早期発見に努めている。 今後もアンケートの継続と啓蒙活動を実施したい。

#### 4 生徒会係

##### 評価表

今年度の重点目標
① 生徒会本部役員のリーダーシップの下、全校が一丸となった学校づくりを進める。
② クラブ・クラス・委員会など様々な生徒集団の中で自立と自治の力をつけさせ、民主的な人格形成を目指す。
③ 他校、地域、保護者などに対して開かれた活動を生み出し、社会性を身につけさせる。

重点目標	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題
①	本部役員の企画力・行動力を育み、リーダー集団として成長させる。	予餞会・西高祭など各種行事を主催・運営することにより、自らの組織力や行動力を高められたか。	B	先読みが甘く成功とはいえな い企画もあった。しかし、難しいことへの挑戦は評価できる。今後にかわしていきたい。
①	太鼓の伝統を引き継ぐ。	太鼓の伝統的な指導を受け継ぎ、太鼓を通して団結力や精神面を鍛えられたか。	A	本番では笑顔で楽しそうに太鼓を叩く姿が見られた。本番で余裕がもてるのは練習の積み重ねの成果である。
②	委員会活動を活性化させる。	各委員会がそれぞれ活発に企画・運営し、生徒会の活性化を推進できたか。	B	活動が活発になってきている委員会もあるが、生徒の自主性を育む学校づくりのために

				できることはないか全体で模索していきたい。
②	話し合いを通して、協力体制をつくる力を身に着けさせる。	生徒総会や各行事の企画・立案などを通して、討議・実践・総括のプロセスを身につけられたか。	A	議会と同様の議事進行を目指して総会の持ち方を工夫した。活気あふれる議論が展開された。
②	集団指導体制を通して豊かな資質を育む。	各行事を通して、学年・クラスを越えた生徒・教員の交流を図り、豊かな人間性を身につけられたか。	B	学年を越えた輪を広げようという試みはあったが、成果は不十分であった。生徒会が主導となり、成果をあげられる体制を整えていきたい。
③	他校や地域との交流を深める。	他校との交流や地域的な活動を通して、他から学ぶ力や社会性を豊かにすることができたか。	A	地域の方達と連携した西上田駅前の花壇整備、警察と連携しての防犯の呼びかけなど積極的に行えた。

※評価〔達成度〕 A：十分 B：おおむね良い C：不十分

## 5 防災整美

今年度の重点目標

①	管理箇所の点検や防災の推進を図る。
②	年間を通して校舎内外の整美と美化に務める。
③	全校生徒、職員による清掃活動を徹底する。
④	学習環境や地球環境の保護意識を高める

※評価（達成度） A:十分 B:おおむねよい C:不十分

重点目標	評価項目	評価の観点
①	分担箇所の管理	破損箇所の発見・修理箇所の点検・管理箇所の安全確保
①	防災意識の啓発とそなえ	生徒の防災に対する意識の啓発と、迅速な防災訓練の実施
②③	通学路清掃の推進	各クラスで積極的かつ活発な清掃活動を実施(整美委員会が中心になって行う)
③④	ゴミ分別の徹底	ゴミ分別が環境に与える影響を理解させ、身近な学習環境から大きく地球環境までを保護する意識を育成・職員の分別作業への参画

重点目標	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題
①	分担箇所の管理	破損箇所の発見・修理箇所の点検・管理箇所の安全確保	A	迅速に対応した。

①	防災意識の啓発とそなえ	生徒の防災に対する意識の啓発と、迅速な防災訓練の実施	A	防災訓練のスピード、静かさ 本気度合いはまだまだ
②③	通学路清掃の推進	各クラスで積極的かつ活発な清掃活動を実施(整美委員会が中心になって行う)	B	工事のため駅前の地域が雑然としてる。
③④	ゴミ分別の徹底	ゴミ分別が環境に与える影響を理解させ、身近な学習環境から大きく地球環境までを保護する意識を育成・職員の分別作業への参画	C	一番ダメなのが研究室の分別と生徒に言われているようでは駄目だと思う。

※評価〔達成度〕 A：十分 B：おおむね良い C：不十分